みずほCustomer Desk Report 2018/08/23 号 (As of 2018/08/22)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	110.19
TKY 9:00AM	110.12	1.1576	127.47	1.2907	0.7362
SYD-NY High	110.62	1.1623	128.27	1.2936	0.7371
SYD-NY Low	110.03	1.1553	127.36	1.2869	0.7334
NY 5:00 PM	110.55	1.1598	128.23	1.2913	0.7352

NY DOW	25,733.60	▲ 88.69	日本2年債	-0.1200	1.00bp
NASDAQ	7,889.10	29.92	日本10年債	0.0900	0.00bp
S&P	2,861.82	▲ 1.14	米国2年債	2.5933	▲1.25bp
日経平均	22,362.55	142.82	米国5年債	2.7030	▲2.22bp
TOPIX	1,698.37	12.95	米国10年債	2.8198	▲2.17bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,370.00	55.00	独10年債	0.3435	1.25bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,574.24	8.54	英10年債	1.2715	0.60bp
DAX	12,385.70	1.21	豪10年債	2.5360	0.10bp
ﾊﾝｾﾝ指数	27,927.58	174.79	USDJPY 1M Vol	6.90	▲0.05%
上海総合	2,714.61	▲ 19.22	USDJPY 3M Vol	7.48	▲0.02%
NY金	1,203.30	3.30	USDJPY 6M Vol	7.78	0.00%
WTI	67.86	2.02	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	191.12	1.11	EURJPY 3M Vol	8.88	0.05%
ドルインデックス	95.15	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	9.13	0.01%

東京

ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領の元個人弁護士であるﾏｲｹﾙ・ｺｰｴﾝ氏が選挙資金を巡る違反行為を認め、ﾆｭｰﾖｰｸ連邦検察当局と司法取引で合意したことを受け朝方のﾄﾞﾙ円は軟調推移となり、110.12ﾚﾍﾞﾙで東京時間ｵｰﾌﾟﾝ。早朝の流れを引き継ぎ一時110.03で下げる局面も見られたが、110.00近辺がｻﾎﾟｰﾄﾗｲﾝとして意識される中で下げ止まり、その後は反発し早朝の下げ幅を巻き戻す展開となり、一時110.50まで上昇。その後も底堅い推移となり、110.41ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は110.41ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝすると、前日高値圏で始まったこともあり上値重く推移。ﾕｰﾛが買い進まれるとﾄﾞﾙは小幅に売り進まれ一時ﾄﾞﾙ円は110.21まで売られた後、110.28ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1562ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾄﾙｺ休場によりﾘｽｸｵﾌﾑｰﾄﾞが後退する中、欧州株が上昇して寄り付いたことを受けﾕｰﾛは買い進まれ1.1619まで堅調に推移、1.1611ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 清)

ニューヨーク

「ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領の元個人弁護士が選挙資金法違反で有罪を認めた」と前日報道されたことから、海外市場のﾄﾞﾙ円は軟調推移で110.03まで下落するが、110.00近辺での底堅さが意識されたこととや、「米国とﾒｷｼｺがNAFTA合意に近づいた」と伝わったことから110.50まで上昇し、110.28ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は下落していた米金利が反発する動きを受けて110.62まで上昇。10時に発表された米7月中古住宅販売件数は予想外の減少となったがﾄﾞﾙ円の反応は限定的だった。その後公表されたFOMC議事要旨では、FOMC参加者の大半が近いうちに追加利上げが適切になるとの認識を示していることが明らかになった一方、貿易・米住宅市場・新興国市場が下振れﾘｽｸと指摘しており、ﾄﾞﾙ売りで反応し110.40をつける。しかし、想定範囲内であったためか、すぐさま発表前の水準まで戻し、110.55ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1570付近で推移するが、ﾕｰﾛ圏の賃金を含む労働ｺｽﾄの前年比上昇率が2012年以来の高水準に回復したことから1.1619まで上昇し、1.1611ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米金利上昇につれてﾄﾞﾙ買いが進み1.1585まで下落する。ﾕｰﾛ買いの新規材料は見当たらなかったもの、その後1.1623まで上昇し、1.1590近辺で推移。FOMC議事要旨公表後のﾄﾞﾙ売りに反応し、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1620まで上昇するが、滞空時間は短く1.1580まで反落し、1.1598ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：加藤・森谷

【昨日の指標等】

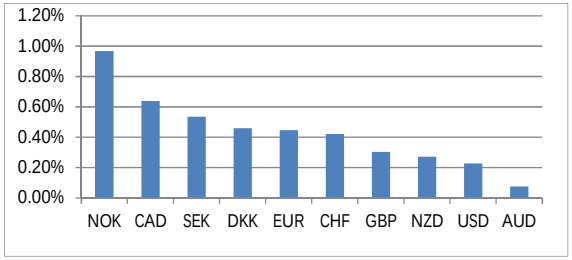
Date	Time		Event		結果	予想
8月22日	21:30	加	小売売上高(前月比)	6月	-0.2%	-0.2%
	23:00	米	中古住宅販売件数	7月	5.34m	5.40m
8月23日	03:00	米	FOMC議事要旨(7/31-8/1開催分)	-	-	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月23日	16:30	独	ﾏｰｸｲｯﾄPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	8月	56.5/54.3/55.1	56.9/54.1/55.0
	20:30	欧	ECB議事要旨(7/25-26日開催分)	-	-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	215k	212k
	22:45	米	ﾏｰｸｲｯﾄPMI(製造業/サービス業/コンポジット)・速報	8月	55.0/55.8/-	55.3/56.0/55.7
	23:00	米	新築住宅販売件数	7月	645k	631k

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00－110.80	1.1540-1.1640	127.30-128.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円市場は、米政権の先行き不透明感につながるかもしれないニュースが頻発しているにもかかわらずリスク回避をテーマとした円買いフローは静かなもので、かえって実需の円売りが目立った動きであった。司法取引に応じたトランプ米大統領の元個人弁護士が不正行為への大統領の関与を認めたり、大統領の選対本部長が有罪判決を受けたりしたものの、総じて市場参加者は静観しており、金曜日のジャクソンホールでのパウエル議長発言に注目が移りつつある。